

第3回JDKF.空手道競技大会

競技申し合わせ事項

競技について

試合ルールは、(公財)全日本空手道連盟 競技規定（組手競技、形競技） および本大会競技規定・申し合わせ事項に準じる。

形競技

1. トーナメント方式で、決勝戦まで赤青同時演武の5人制フラッグ方式で行う。
2. 形の選定は、全空連の基本形、指定形、及び得意形リストから選ぶ。
3. 初戦から決勝戦まで同じ形を繰り返し演武できる。
4. 3位決定戦は行わない。
5. 競技開始前に、係員が赤青のそれぞれ演武する形名の表示ボードを各審判員に見せ、テーブルに掲示しておく。（表示ボードは紙媒体とデジタル端末（iPad）のタイプがある。）
6. 選手は**事前に形名を申告カードに書いて申告**すること。（招集時に選手から係員に提出する）
7. 競技開始時の形名の申告は手話での表現も可とする。
8. 時間短縮のため、回戦ごとの礼は省略する。
9. コート入場方法は斜め入場とし、コート外での礼は省略する。（コート内での始めと終わりの礼は必須とする。）
10. 空手着の腰紐が結んでなくても反則負けとせず、審判が選手に指導を促す。
11. もし形が途中で止まり、最後まで出来なくても、反則とせず判定をする。

組手競技

1. トーナメント方式で行う。
2. 3位決定戦は行わない。
3. 競技時間
 - 幼児：1分間フルタイム
 - 小学生～中学生、シニア：1分30秒間フルタイム
 - 高校生・一般女子、高校生男子、一般男子：2分間フルタイム
4. 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた時点又は競技終了時点で、得点の多い選手を勝ちとする。
5. 10カウントルールは、適用しない。
6. 小学生以下の部においては、突き蹴りともに、上段へ接触した場合は軽微であっても原則的にC1違反とする。
7. 小学生以下の部においては、足払い、投げ技を禁止する。
8. 次の合図においては、情報保障のために、ライトを点灯する。
 - ・ヤメ：赤色（回転灯）・・・選手の動きが止まるまで。
 - ・あとしばらく：青色（回転灯）・・・2秒間点灯
9. 安全具
 - 一般男子／高校生女子・一般女子：
拳サポーター、マウスピース、胴プロテクター、シンガード・インステップガードの着用を必須とする。（メンホーは使用しない。）
 - 上記を除く全ての競技：
拳サポーター、メンホー、胴プロテクター、シンガード・インステップガードの着用を必須とする。
10. ファールカップは小学5年生以上の着用を必須とする。小学4年生以下は任意とする。

11.大会で使用出来る安全具はメンホー、ボディプロテクターは全空連またはWKF公認、シンガード・インステップガード、拳サポーターは全空連、高体連またはWKF公認のものとする。

服装

- 胸マークは自由とする。
- 自分の赤帯または青帯（マイ帯）の着用可能。ない場合は赤紐または青紐を着用すること。
- 高校生・一般のみ、JDKF.の赤帯または青帯を借用することができる。
- 形競技での補装具の装着を認める。
- 組手競技での補装具は、事前に安全を確認されたものについてのみ、その装着を認める。

その他

- 選手は開会式、閉会式には必ず参加すること。
- 参加者が1名の場合は、競技を行わず、演武披露のみとする。

お願い

ろう者の選手は審判員の合図の音が聞こえません。

そのため、「はじめ」の合図を、手話で表現いただくよう、ご協力をお願いします。



「はじめ」

～ 形競技の入場方法～演武開始までの流れ～

1 コート係の準備が完了したら
選手呼び出しに GO サインを出す

準備 OK です

コート係

選手呼び出し係

審判員 選手

選手 審判員

2 選手呼び出しは手話で行う。
(音声通訳あり)

赤、〇〇選手！
青、〇〇選手！

ハイ！

ハイ！

※選手同士の「お互いに礼」はしない。
名前を呼ばれたら返事をし、斜めに入場する。

3 係員は形名用紙を審判員全員に見せる。
(赤▶青の順に見せる)

平安五段

平安五段

4 選手は始めの礼をし、形名を申告した後に、演武開始。
(形名は手話または声で申告する。)

平安五段！

平安五段！

※それぞれ正面に礼をし、
形名を申告した後、演武開始。
(形名は手話または声で申告する)

～ 形競技の退場方法 ～

1

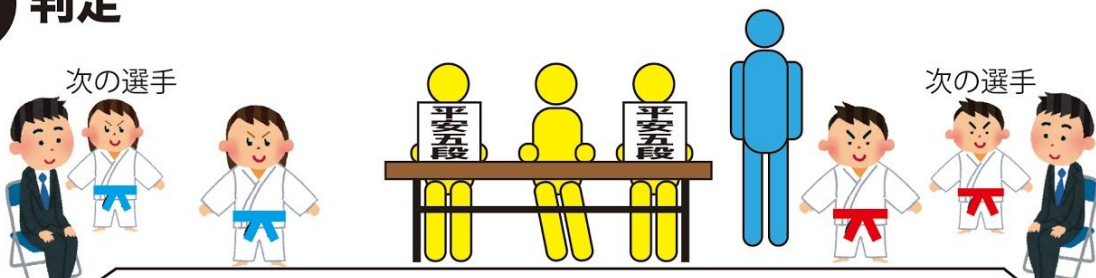
形が終了したらそれぞれ終わりの礼をしてから、後方へ下がる。



※形が終了したら、終わりの礼をし、コート外まで後方へ下がる。

2

判定



※次の選手は待機位置にスタンバイする。

3

勝者に、次の試合を赤か青と伝えて、そのコート側に待機
(敗れた選手は競技場から退場する。)

